



ペンペン

2018年4月1日発行
(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

891-0113
鹿児島市東谷山2-33-13
TEL 099-268-2084
FAX 099-284-5738

E-Mail: taniyama-cc@lagoon.ocn.ne.jp URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~tycc/>

発行人: 頭島 光 神父 編集委員: 太田勇二郎 Sr.下川千穂子 岸誠之助

新たな命を迎える

主任司祭 トマス 頭島 光 神父

主のご復活！おめでとうございます。教会共同体に、今年もまた新たな命が生まれました。復活徹夜祭に洗礼の儀が執り行われ、新しい人が私たちの共同体のメンバーとなりましたことは大きな喜びです。主の復活と共にその誕生の喜びを分かち合いましょ。新しい命の誕生は、言うまでもなく、神から賜物の何物でもありません。この喜びの賜物を受け入れる器こそ、私たち谷山共同体にあるのです。

◆ 無条件の愛

さて、命がこの世に生まれるとき、人は互いにその誕生を無条件に喜び合います。これは、

まさにどの世界、またどの時代にあっても、共通の喜びであることは言うまでもありません。その命の素晴らしさは、私たち自身にも言えることですが、「生

まれる前から愛されていた命だ！」という隠しようもない事実裏付けされていることです。「愛されずに生まれた者はいない」、あるいはまた「あなたは愛されるため生まれた」尊い命です。その存在は私に価値がある、とそうイエス様は言っています。無条件の愛とは、神の愛そのものだからです。



◆ 先行する愛

神の愛は、想像を絶する先行の愛です。死をもって人を愛しているからです。困っている人

に愛の手を差し伸べる人はいます。悲しむ人に励ましの声をかけてあげることができます。苦しむ人に慰めの言葉かけもしてあげられるでしょう。しかし、自分に唾し、嘲り、

侮る人に、無限の愛の眼差しを向けられるでしょうか。寛大さと勇気によって、ある程度までなら、耐え抜くことはできるかもしれません。しかし、最後までやり遂げられるでしょうか。なんと、神様の愛は先行していました。初めからあなたを愛しておられたのはイエスただお一人でした。次のページに続く ⇒

◆ 開かれた心

大きな心、開かれた心を持つことは簡単ではありません。それを寛大という言葉だけでは表現し切れません。神のみ心は、でっかくて、でか過ぎて、人の思いを遥かに超えているからです。そこからみると、私の中の少々の愛など、まさに取るに足りないものに過ぎません。なぜなら、神のみ心は、我が子、イエスに復活の命を与えることでした。そこまで大きく開かれた心は、神様だけの偉大な賜物、恵みです。ところが、神はこの復活という大きな賜物を、私たちにも与えようとしておられるのです。イエス様にのみ与えられた賜物ではなく、私たちにも、その永遠の命への道を示されました。だから「ご復活おめでとう！」ではなく、私にも与えて下さって、ありがとう、なのです。

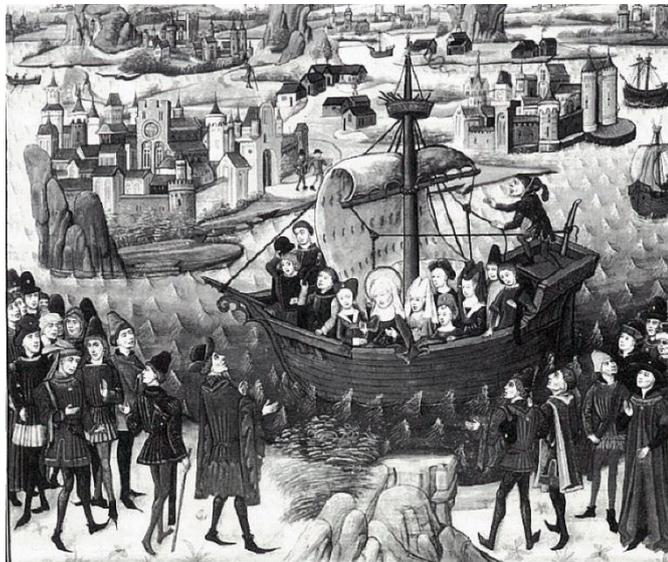
◆ 神の子どもとなる

洗礼を受けることは、ただ単にカトリック信者となりました。おめでとう、ではありません。キリストと結ばれ、神の愛との交わりに招き入れられた、その神秘を喜んでいるのです。「水と霊によって新しく生まれ」変わった、聖書はそう書いています。私たちは水によって罪から清められ、霊によって永遠の命、復活の命をいただいたのです。既に、信者となって新しく生き始めた、私たち自身も、洗礼を受けたときのことを振り返ってみましょう。すると、そこには、やはり多くの人々からのお陰様、そして神様からの賜物があつたことに気がきます。皆さん、今年度もよろしくお祈りします。そして、私たち共同体の年間テーマも、引き続き「共に暮らす家を大切に」で行きましょう。神に感謝。

今月の聖人から

聖ワルトルーディス

4月9日



モンス(ベルギー)の守護者、聖ワルトルーディスの家族は非常に聖なる家族で、彼女の両親も列聖され、彼女の3人の子供たちも夫も聖人の位に挙げられた。

夫は貴族でダゴベルト王の廷臣であったが、子供たちが成長し独立すると、彼は妻と共に修道生活をするのを望んで、自分の創立した修道院に入った。ワルトルーディスもその近くに小さな家を建ててそこに住み、自分の持っていた財産は全部貧しい人に施した。

彼女は孤独の生活を愛したが、彼女の優れた知恵と信心を知る多くの人々が、彼女の講話を聴きたいと集まってきたので、必要性を感じ、シャトーリュに修道院を建てて聖母マリアに捧げた。現在のベルギーのモンスという町は、そこを中心として出来た町である。

ワルトルーディスが帰天したのは688年であったが、彼女はその愛徳のためばかりでなく、病気を癒す奇跡的な力を持っているということで、長く有名になっていた。

Taniyama CC NEWS

信徒会館ホールが立派に補修整備され、名称も我が修道会の聖人クレメンス・ホフバウアーのお名前を頂戴してクレメンスホールと呼ばれるようになりました。その命名式が4月1日、ご復活祭のミサ後に行われます。すでに、右図のように美しい名板もできました。

信徒会館ホールが立派に補修整備され、名称も我が修道会の聖人クレメンス・ホフバウアーのお名前





ムイベルガ神父のアンテナ

景教 と 中国

教会の様々な雑誌の中で、中国ではプロテスタント教会とカトリック教会の数はよく増える、と書いてあります。こういう記事の言葉の中に、日本にいる私たちの悩みが隠れています。

確かに、日本の教会はゆっくり成長しています。どうしてでしょう？という質問に対し、次の返事をよく聞きます。「キリスト教はヨーロッパの宗教ですから、日本の文化に合わない。」という返事です。

ここで、私は聞きたいのですが、キリスト教はヨーロッパで生まれたのでしょうか？ イエズス様は、パレスチナ（現代のイスラエル）でお生まれになりました。彼の一番親しかった仲間たちも、皆ユダヤ教に従っていました。また、当時すでにシルクロードによって、中央アジアの文化はユダヤ人にも知られていま

した。ですから、最初の弟子たちは西だけではなく、東にも宣教に行きました。

例えば、聖トマスは現代のアルメニア、イラン、パキスタン、インド、スリランカまで行っていました。200年後、コンスタンティノポリス（現代のイスタンブール）の司教だったネストリウスは、東トルコで教会の最初の大神学校を建てました。ここで神学を学んだ宣教師は、中国に大勢送られました。彼ら

によって、教会、修道院、神学校が色々な場所に建てられました。これらの信仰の証は現代まで残っています。

ネストリウスの教会の足跡を、ここ谷山の修道院でも見ることが出来ます。修道院の台所の隣のカフェテリアには、グランドピアノだけでなく珍しい拓本も展示してあります。この拓本は、西安の博物館に置いてある珍しい石から取られました。中国にはこのような石（脊柱）が Luoyang のあちこちに残

っています。しかし、西安の博物館のような石は唯一のものであります。なぜなら、石に刻まれている言葉は聖書の内容を表しており、さらに、言葉の上の方には十字架の絵も刻まれているからです。

西安の拓本を読むと、景教の神父たちは、自由にキリスト教を教えることが出来たと分かります。

当時の Tang Xuan Zong 皇帝は、彼らの活動を応援しました。例えば、彼は5人の王たちにネストリウスの教会のため祭壇を作るよう頼んだり、沢山の絹の反物を教会に寄付したり、彼の先代である5人の皇帝の姿を教会の壁に描かせたりしました。皇帝は、教会のために非常に有利な条件を作ったので、モンゴリアンの信者の人数は急速に増えていきました。



平成30年 谷山教会4月の予定と祝日表 (4/1~4/30) 西暦2018年

日時	典礼 と 行事	朗読奉仕	掃除	班会等
4月1日 (日) 祭日 復活の主日	10:00 11:00 クレメンホール命名式 と お祝い茶話会	後藤・片野田		
2日 (月)	6:30 朝ミサ 復活の月曜日 19:00 納骨堂管理委員会			
3日 (火)	6:30 朝ミサ 復活の火曜日			
4日 (水)	19:00 水曜ミサ 復活の水曜日			
5日 (木)	6:30 朝ミサ 復活の木曜日			
6日 (金)	19:00 初金ミサ 復活の金曜日 ミサ後 典礼委員会			
7日 (土)	10:00 桜川町内会総会(クレメンホール) 19:00 復活節第2主日のミサ 復活の土曜日		(1)	①掃除後教会
8日 (日) 6:30と9:00	復活節第2主日(神のいつくしみの主日)	増田綾・岸はるか		
9日 (月) 祭日 神のお告げ	6:30 朝ミサ			
10日 (火)	6:30 朝ミサ 10:00 ひまわり幼稚園入園式	班会お休み班 ⑥⑦⑧⑨⑩		
11日 (水) 記念日 聖タチアナ司教殉教者	19:00 水曜ミサ ミサ後 受堅準備勉強会 1	奉納は掃除当番班が行う 四月の行事当番は六・七班		
12日 (木)	6:30 朝ミサ			
13日 (金)	6:30 朝ミサ			
14日 (土)	14:30 教会学校 始業式 19:00 復活節第3主日のミサ		(2)(3)	②③掃除後教会
15日 (日) 6:30と9:00	復活節第3主日 ミサ後 教会役員会(新年度役員顔合わせ)	田原・林		
16日 (月)	6:30 朝ミサ			
17日 (火)	6:30 朝ミサ			
18日 (水)	19:00 水曜ミサ			
19日 (木)	6:30 朝ミサ			
20日 (金)	6:30 朝ミサ			
21日 (土)	14:30 教会学校 19:00 復活節第4主日のミサ		(4)	④掃除後教会
22日 (日) 6:30と9:00	復活節第4主日 ミサ後 信徒総会	徳重・上釜		
23日 (月)	6:30 朝ミサ			
24日 (火)	6:30 朝ミサ			
25日 (水) 祝日 聖マルコ福音記者	19:00 水曜ミサ ミサ後 受堅準備勉強会 2			
26日 (木)	6:30 朝ミサ			
27日 (金)	6:30 朝ミサ ひまわり幼稚園春の遠足			
28日 (土) 記念日 シエナの聖カトリナ乙女教会博士	14:30 教会学校 19:00 復活節第5主日のミサ		(5)(11)	⑤⑪掃除後教会
29日 (日) 6:30と9:00	復活節第5主日 国民の祝日(昭和の日)	塩貝・石田		
30日 (月)	6:30 朝ミサ 振替休日			
ロザリオの祈り	[毎週(火) 10:00]	3日、10日、17日、24日		
聖書を学ぶ勉強会 (エミヤ書)	[毎週(水) 10:00]	4日、11日、18日、25日		
レジオ・マリエ	[毎週(水) 14:00]	5日、12日、19日、26日		
聖書と教理-I	[毎週(木) 15:00~16:30]	12日、19日、26日		
聖体礼拝	[毎週(木) 13:30~14:30]	5日の第1回はザビエルで7:00から		
聖書と教理-II	[毎週(金) 9:00~10:00]	6日、13日、20日、27日		

信 徒 往 来

1	帰天	フランシスコ・ザビエル 大徳 哲夫	1月15日	享年91歳
2	帰天	マルタ 浅地 怜子	3月20日	享年87歳

平成 29 年度 第 10 回 司牧評議会の報告

2018. 3.18 ミサ後開催

【審議事項】

1. 来年度の班長名 (敬称略)

- ・班長・・・1 班-2 カ月交代(連絡は直へ)/2 班-徳重/3 班-伊東/4 班-上釜/5 班-橋口/6 班-源/7 班-未定
/8・9 班-2 か月交代(連絡は岩崎へ)/10 班-松山/11 班-2 カ月交代(連絡はティムソン)

2. 復活祭のお祝い準備について

- 3 月 31 日(土) 卵 500 個の準備は(昨年同様)、朝 8 時から始めます。(当番班は 5・11 班です)
10:00～袋詰めのお手伝いをお願いします。 19:00～復活徹夜祭 ミサ中で洗礼式
- 4 月 1 日(日) 10:00～復活の主日ミサ後、「クレメンホール」命名式
11:00～御復活・洗礼のお祝いの茶話会があります。(当番班は 6・7 班です)

【日程のお知らせ】

- 3 月 18 日(日) 9:00～ ミサ後 司牧評議会
- 21 日(水) 10:00～ 幼保連携型認定こども園ひまわり幼稚園の保育所創設落成記念式典
- 24 日(土) 9:30～ 枝の準備 / 14:00～鹿島先生の健康講座第 3 回(於:クレメンホール)
- 25 日(日) 9:00～ 枝の主日【主の受難】
- *25 日(日)～26 日(月)主任司祭は宗教法人役員会(於:東京)出席のため留守になります。
- 28 日(水) 11:00～ 「聖香油ミサ」 於:ザビエル教会/19:00～ミサ後、求道者勉強会第 15 回
- 29 日(木) 19:00～ 聖木曜日 「主の晩餐の夕べのミサ」
- 30 日(金) 19:00～ 聖金曜日 「主の受難の礼拝」
- 31 日(土) 19:00～ 復活徹夜祭(洗礼式)
- 4 月 1 日(日) *6:30 の朝ミサなし
10:00～ 復活の主日ミサ、後クレメンホール命名式 11:00～お祝い/茶話会
- 6 日(金) 19:00～ 初金ミサ
- 8 日(日) 14:00～ カトリック北薩信徒大会準備委員会第 2 回 於:出水教会
- 11 日(水)/25 日(水) 19:00～ミサ後、堅信志願者のための勉強会①
- 15 日(日) 9:00～ ミサ後 司牧評議会 (新年度役員顔合わせ)
- 22 日(日) 9:00～ ミサ後 「2018 年度信徒総会」
- 5 月 6 日(日) 9:00～ ミサ後 「2018 年度やすらぎのドーム総会」
- 20 日(日) 10:00～ 聖霊降臨の主日ミサ アルフォンソ合唱団ミサ曲奉献
*13:30～16:30 北薩信徒大会 (於:出水教会) 講師は郡山司教/ミサ中、堅信式

【その他】 -主任司祭より-

1. 山口神父様が旧司教館で<子供食堂>を月 1 回開いている。ボランティアできる方を探しています。
班で声かけをお願いします。
2. 3月 19 日より、ホームページが公開されています。スマホ、パソコンで閲覧可能になりました。検索キーで「カトリック谷山教会」と書けば、すぐにアクセスできます。不明点はお聞きください。
3. 聖堂の掃除の際、掃除機を同時に 2 台使うとブレーカーが落ちます。同じコンセントから取らないよう注意してください。もし同時に使用したいなら、二台とも弱設定で願います。一度に同じところからオンすれば、どうしても過電流が急激に上がるため落ちます。別のコンセントから使用するよう、ご協力願います。

(以上の事が話し合われ、了承されました)